
第6回イスラム金融サービス委員会(IFSB)年次総会及び第5回IFSBサミットについて

平 20 年3月 26 日、5月 12～14 日

本協会は、中東・アジア地域を中心に急拡大しつつあるイスラム金融の実情を把握するため、平成 19 年 8 月、イスラム金融の世界的なルールの標準化を目指すイスラム金融サービス委員会 (Islamic Financial Services Board～以下IFSB～) にオブザーバー・メンバーとして加盟した。

同委員会は去る 3 月 26 日に、サウジアラビアのジェッダにて第6回年次総会を開催し、また 5 月 12 日から 14 日の 3 日間、ヨルダンのアンマンにて、中東・マレーシアをはじめとするイスラム金融先進国の中央銀行総裁クラスをはじめとする著名スピーカーを多数集めたサミットを開催した。

3 月の総会は当初、パキスタンのカラチにて開催される予定であったが、国内の政情不安のため、急遽サウジアラビアのジェッダに開催地が変更されたものである。ジェッダのイスラム開発銀行 (Islamic Development Bank) 本店で開催された総会では、前年度の活動報告及び財務報告の承認、来年度の議長国 (新議長にサウジアラビア通貨庁長官、新副議長にスーダーン中央銀行総裁) の選出などを決議し、閉幕した。当協会からは 1 名の職員を派遣したが、IFSB 首脳陣やイスラム金融先進国関係者との懇親を深めることができた。

また、5 月にヨルダンのアンマンで 3 日間にわたり開催された IFSB サミットは、「金融のグローバル化とイスラム金融サービス」というテーマの下、8 か国の中央銀行総裁と英国の前金融庁 (FSA) 長官ハワード・デービス氏を含む 15 名の著名スピーカーを迎えた盛大なイベントであった。日本からも 2 社の代表者がスピーカーに加わった。本年は、約 200 名のサミット参加者のうち、12 名が日本からの参加で、これまでにない日本のイスラム金融に関する関心の高まりを感じさせたサミットであった。



サミットの会場の様子 (ヨルダンのアンマンにて)